

# ロシア 東欧 経済速報

社団法人 ロシア東欧貿易会 〒104-0033 東京都中央区新川1-2-12 金山ビル Tel.(03)3551-6218  
ロシア東欧経済研究所 <http://www.rotobo.or.jp> [年間購読料・送料共前納 18,000円]

1998年(平成10年)12月5日 No.1110

## 目次

ロシアのアルミニウム産業の現状.....	坂口 泉 1
キーパーソン.....	9
CIS諸国通貨の最新為替レート.....	9

## ロシアのアルミニウム産業の現状

### — トーリングおよびトレーダーをめぐる動きを中心に —

はじめに 国内需要が激減しているにもかかわらず、ロシアのアルミニウム新地金の生産は非常に好調で、1997年には290万tに達した。1998年も生産は引き続き好調で、前年並か前年をやや上回る程度の生産量が期待されている。

この好調さを影で支えているのは、トーリングと呼ばれる委託加工生産システムであり、トレーダー(金属専門商社)である。本レポートでは、トーリングとトレーダーをめぐる動きを中心に、ロシアのアルミニウム産業の現状を報告することとする。

### 1. ロシア・アルミニウム産業の全般的状況

ソ連解体後、ロシアでは、粗鋼、銅地金、亜鉛等主要金属の生産量が激減したが、アルミニウム新地金の生産量だけは、ほとんど落ち込まなかった。それどころか、ここ数年は増加傾向を示している(第1表参照)。その秘密は、トーリング(委託加工)にある。

1992年頃までは、ロシアのアルミニウム工場は、通常の契約方式で生産を行っていた。すなわち、自力で原料の調達、アルミニウム新地金の生産および船積み港までの輸送を実施し、出荷後20~30日後に代金を受け取るのが通例となっていた。つまり、生産に取りかかっただけから約4カ月は入金がないのが普通であった。しかし、ロシアが市場経済への移行に取り組みはじめてから、エネルギー代金や鉄道運賃等の高騰、相互債務問題の深刻化といった様々な問題が生じ、従来の